

児童福祉司（応用）Ⅰ（第2回）

令和6年度 児童相談所関連研修

日程 1月23日（木）、24日（金）

対象 ・子ども家庭福祉・母子保健等に携わる職員

・虐待対応の実務経験があり基本的な用語、法制度等をおおむね理解できている職員 【定員：50名】

※本研修は、昨年度まで「児童福祉司（3～4年目）Ⅰ」として実施していましたが、経験年数によらず中堅職員を中心に受講していただくために名称変更しました。

ねらい 児童福祉司として求められる専門的な知識・スキルを身につけ、複雑・困難な事例においても的確な調査・アセスメントを通じた相談援助、他職種・他機関との連携に基づく調整、支援対応等ができる実践的能力の向上を図る。

場所 特別区職員研修所（千代田区九段北1-1-4 東京区政会館別館）

カリキュラム

日程	教科目・講師名（敬称略）	
23日 （木）	<p>○家族システム論に基づく保護者との関わり方（講義） ケースのアセスメントや家族との面接でも、家族システム論の理論や知識を用いることは有用です。子どもと保護者の関係性、家族全体や世代を超えた関係性への支援について、現場の職員とのディスカッションを交えながら学びます。</p> <p>○認知行動理論に基づく対人援助技術について（講義） 家族との面接や支援方針を検討する際に、相手の認知や行動の歪みを理解することは重要です。認知行動理論の考え方や技法を用いて、保護者からの不適切な関わりや子どもの心配な行動の背景を理解し、より適切な親子関係を支援する方法を学びます。</p>	<p>【講師】 東京認知行動療法センター ／発達・家族相談センター 日下 華奈子</p> <p><経歴> 東京大学大学院教育学研究科修士・博士課程を経て、東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース特任助教、同研究科附属心理教育相談室臨床相談員、都内クリニックに勤務。 都内の子ども家庭支援センター勤務などを経験し、現在も首都圏の児童相談所において家族療法の研修講師やケース検討に携わっている。</p>
24日 （金）	<p>○ケースフォーミュレーション・ワークショップ（演習） ケースへの介入は、ケースを適切に見立てることから始まります。アセスメント情報を整理し、家族の理解と問題解決への道筋・支援計画を模索・検討していきます。</p> <p>○子ども・家族との面接（演習） 児童虐待対応での面接場面を題材にして、俳優とのロールプレイを行います。講義で学んだ知識や技術を使い、講師からの助言などを受けながら実践的な演習に取り組みます。</p>	